

2 年次ゼミ：ガイダンス

・ 履修について：

希望者は原則人数制限なしで受け入れるが、昨年本ゼミを履修した 2 年次留年者を拒否することがある。**ゼミ最新情報は随時ゼミ HP に掲載**するので注意する。各ゼミ員はゼミ HP で 5 月以降に登録し、個別情報を取得できるようにしておくこと。資料について不明なことは些細なことでも来室あるいは email など質問すること。ファイル添付可能な email アカウントを取得しておくことを勧める。大学メールアカウントの利用が望ましい。私的メールアカウント利用により生じる不都合については一切責任を持たない。大学ネットワークの利用についてはメディア・センターに問合せること。

・ ゼミ活動：

個人活動を基本とし自主的報告を中心とする。ゼミ合宿は行わない。研究テーマ・進捗および要望に応じてゼミ員同士の討論の場を設ける。希望に応じて勉強会を行う。ゼミナール大会への参加はゼミ員の自由である。

・ ゼミ員の義務：

指定期日までのレポート提出が単位取得の必須条件である。またゼミ時間を利用して自主的に自分のレポート内容をゼミ担当者に説明し、自分が内容を十分理解していることを示すことが重要である。

・ 本ゼミに向いている学生：

1. 経済学を利用した研究に興味があり、研究課題を自主的に探究できる。
2. 英語、数学、統計学を十分理解している。

・ 2 年ゼミ年間スケジュール：

時期の目安	ゼミ活動
4 月	ゼミに関する質問を email(otsu@seijo.ac.jp)にて受付。
5 月～翌年 1 月	経済学に関する勉強会、自主的報告、研究課題決定。分析方法習得、過去の研究のサーヴェイ。
10 月	ゼミ大会参加申請書(HP に掲載予定)提出
1 月	レポート提出 期限：期末試験最終日 場所：3 号館 4 階経済学部研究事務室(ゼミ担当者名を伝えて提出)。
1 月～3 月	各自のゼミ HP にて提出物へのコメント掲載。

・ ゼミの変更：

移動先の先生から承諾を得ることができれば**制度的に可能**である。本ゼミからの転出については全面的に支援する。事前に十分な情報を得ていれば、転出が成功するように可能な限り協力する。事務手続きは経済学部研究室で確認する。

・ 提出レポート：

充足要件	説 明
様 式	A 4 用紙、枚数自由、ワープロ使用、日本語か英語。
提出方法	印刷物の直接提出あるいは WORD、テキスト、pdf のいずれかの形式のファイルを email 添付。
提出物の内容	研究の目的、サーヴェイ、分析方法、利用資料の説明、分析結果、参考文献リスト、利用資料。執筆上の注意については各自の HP 掲載の「卒業論文の作成」参照。
サーヴェイ	自分の研究テーマと関連ある過去の研究論文（後述の「既刊論文の探索」を参照）を見つけ、目的、分析方法、使用データ・資料、結論に関して、自分の研究との関係を明らかにする。
利用データ・資料	作成方法、作成期間、作成機関、出版社が明らかなものを利用する。インターネットに数値のみある資料の利用は避ける。
参考文献リスト	各自の HP 掲載の「卒業論文の作成」参照。

・ 既刊論文の探索：

幾つかの論文に目を通し、興味をもてる論文を選ぶ。良い論文は序文（Introduction）に問題意識・目的および論文の構成が明確に述べられている。また、結語（Results あるいは Discussion）以下には結論および今後の課題が明確に述べられている。したがって、これらの部分を読むだけでどのような内容かを判断できることが多い。もちろん、専門用語が多く分かりにくいこともあると考えられるが、現段階で全てを理解できなくとも全く問題はない。論文選択にあつては、各自が興味を持てることが重要である。最も興味を持てた論文を徹底的に理解することに努めて欲しい。また、現実との対応が容易という観点から、データ分析・資料分析を含んだ研究を選択することを勧める。

論文を探す際には、図書館のホーム・ページから利用可能な EBSCO、ECO(OCLC)、Science Direct (Elsevier)を利用すると便利である。電子ファイルで取得可能な英文論文も多くある。参考として、以下に代表的な学術論文を挙げるので、これらを図書館 HP の OPAC を利用して、雑誌の蔵書場所を見つけ、掲載されている論文に目を通し、どのような内容を含めるべきか理解する。また、図書館にない場合には、NACSIS の web サイト(webcat.nii.ac.jp)により所蔵する日本国内の図書館を知ることが可能である。日本の大学紀要は紙面の都合により背景や関連事項の内容を十分含んでいないことが多く、初学者が扱うのは難しいので勧めない。

邦文：

金融研究(日本銀行金融研究所)、経済分析(内閣府経済社会総合研究所)

日本経済研究(日本経済研究センター)、フィナンシャル・レビュー(財務省財務総合政策研究所編)

英文：

American Economic Review
 Brookings Papers on Economic Activity
 The Canadian Journal of Economics
 The Economic History Review
 Econometrica
 Economica
 The Economic Journal
 International Economic Review
 Journal of Applied Econometrics
 The Journal of Business
 The Journal of Economic History
 Journal of Economic Literature
 The Journal of Economic Perspectives
 The Journal of Finance
 The Journal of Financial and
 Quantitative Analysis

Journal of Industrial Economics
 The Journal of Human Resources
 Journal of Labor Economics
 Journal of Money, Credit and
 Banking
 The Journal of Monetary Economics
 The Journal of Political Economy
 Oxford Economic Papers
 The Quarterly Journal of Economics
 The RAND Journal of Economics
 The Review of Economic Studies
 The Review of Economics and
 Statistics
 The Review of Financial Studies

・ 各年次の単位取得条件：

要 件	2 年	3 年	4 年
1 学外発表・刊行、2 以下要件充足	AA	AA	AA
2 英語による執筆、3 以下要件充足			A
3 独自の貢献(過去の研究の発展) 4 以下の要件充足		A	BB
4 主要参考文献の結果複製 5 以下の要件充足	A	BB	B
5 研究目的の意義・重要性の説明		B	B-
6 関連論文のサーヴェイ			
7 分析方法の習熟、資料収集・調査		B-	C
8 研究課題の確定 1 本以上の関連論文の内容理解 過不足のない文献リスト 適切な文献リスト表記法 適切な文献引用法	C	C	
* 提出要件未充足	/	/	/

提出要件：指定期日内提出。

参加点：ゼミ時間、その他を利用した担当者への研究課題の内容説明。

加点条項：「ミクロ経済学」の成績が A 以上の場合、2 年次の成績を 1 ランク上げる。但し、

9 月 30 日までに EMAIL で申請することが必要。教務部に確認後加点する。